宇陀市：報道資料

平成２４年度一般会計当初予算の特徴

(　　)内金額は、H23 当初額。

(1)　**予算額**　１８１億７千万円　　（１７８億５千万円）対前年比↑１．８％

(2)　**主要（目玉）事業**

①普通建設事業

○大宇陀小学校建設事業　８億９，００６万円（６億６，５１４万円）↑33.8%

○都市計画道路東町西峠線５億７，１７７万円（４億８，５００万円）↑17.9%

○仮称ﾜｰﾙﾄﾞﾒｲﾌﾟﾙﾊﾟｰｸ整備事業　９，０００万円（　６，０００万円）↑50.0%

②出資金

○市立病院建設事業出資金　４億１，６００万円（１億７，４３９万円）↑138.5%

※上記４事業は、３～5 年の継続事業で、いずれも２４年度が最終事業年度を迎える。

③耐震基準以前に建築された小中学校校舎の耐震診断をＨ２３年度に終えたが、２４年度から順次工事設計に着手し、平成２７年度までにすべての耐震化工事を終える。

④「大宇陀道の駅」を指定管理者制度を導入した。

(3)　**新規事業**

①ウッピー商品券の発行（新）　２６３万２千円　　※ウッピーはﾏｽｺｯﾄｷｬﾗｸﾀｰ

次の②～⑤の市助成金に充てるため、市内流通商品券発行を商工会に委託する。

②住宅リフォーム促進奨励制度（新）３００万円

市内建築業者を利用してリフォームを実施した市民へ費用の１０％（１０万円上限）

③宇陀市産木材利用促進助成制度（新）１００万円

市外も対象。木材代金の１／２（市内は商品券、市外は現金の予定。）

④住宅用太陽光発電システム設置補助金（新）２００万円

設置した市民に費用の１０％（１０万円上限）

⑤定住促進奨励金（２３年度開始、予算倍増）４００万円

宇陀市への住宅取得による転入（既設）、市内での住宅取得（新規拡充）

⑥合併処理浄化槽設置事業補助金（既設、予算倍増）３，１４８万円

設置する市民への助成（例示：７人槽４１万４千円）

以上が、<u>宇陀市内の地域経済活性化策</u>。

⑦土砂災害予防のため、山林の樹種転換促進（新）　２０万円

治山工事の受益者に、工事施工時に樹種の転換を依頼する。（苗木、手間）

⑧空き家再生等推進事業補助金（新）　１，０００万円

国交省の補助金を活用し旧伊那佐郵便局を保存修復する。観光休憩等に資する。

⑨まちづくり協議会の設立促進（新）　１，４３６万円

合併し広大な面積を有することとなった宇陀市において、市民が主体的に参加する協働によるまちづくり組織の設立を促進する。

(4)　歳　入

①市　税　　２８億５，３００万円（２８億４，７００万円）　↑0.2%
②地方交付税　　８７億３，５００万円（８４億５，４００万円）　↑3.3%
③基金繰入金　　２，５９３万円（　３億２，５７０万円）　△92.0%
④繰越金　　２億５，０００万円（　　１千円）　皆増
⑤市　債　　２３億１，９２０万円（２０億７，３００万円）　↑11.9%

【歳入の解説】
①個人市民税↑1.6%＝扶養控除廃止　固定資産税△3.0%＝評価額下落など
②地方交付税↑3.3%＝普通交付税における市町村合併の割増しが約１４億円ある。
③基金繰入金△92.0%＝基金繰入金による財源調整（実際には不用）をやめた。
④繰越金（皆増）＝③を確実な見通しのもと繰越金の計上に変更。
⑤市債↑11.9%＝合併特例債（交付税措置率７０%）を活用。

(5)　歳　出

①普通建設事業　２０億１，５００万円（１７億１，７５２万円）　↑17.3%
②出資金　　４億４，２００万円（　２億３，９６１万円）　↑118.4%
③公債費　　３５億５，５９６万円（３８億４，４８７万円）　△7.5%

【歳出の解説】
①普通建設事業
　○大宇陀小学校建設事業　８億９，００６万円（６億６，５１４万円）↑33.8%
　○都市計画道路東町西峠線５億７，１７７万円（４億８，５００万円）↑17.9%
　○仮称ﾜｰﾙﾄﾞﾒｲﾌﾟﾙﾊﾟｰｸ整備事業　９，０００万円（６，０００万円）↑50.0%
②出資金
　○市立病院建設事業出資金　４億１，６００万円（１億７，４３９万円）↑138.5%
③公債費
　○元金　　３０億６，９６７万円（３３億３，３９０万円）　△7.9%
　○利子　　４億８，３２９万円（　５億　　７９６万円）　△4.8%

(6)　その他

①市の基金残高
　平成１８年度末に１千万円余りとなった財政調整基金等の残高が、２３年度末には３１億円程度の残高になると見込んでいる。
②市の市債残高
　平成１７年度末に５１８億円となっていた市債残高（公営企業・特別会計も合算）が、平成２３年度末には４５８億円となる予定。（Ｈ１７／Ｈ２３比⇒△11.5%）